



炬火を掲げていざ謳う

No.66



# 我々の泉鳥取

2023年11月28日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 個々への寄り添いを中心に

### 2003(平成15年)カリキュラム改定

1999(平成11)年に、文部科学省は『学習指導要領』を改定しました。この『学習指導要領』では、参加体験型の授業や新たに「総合的な学習の時間」を3年間で3～6単位学習する、ということが目玉になっています。この改訂に伴うカリキュラムは、2003(平成15)年から実施されることとなりました。

泉鳥取高校では、高校卒業の学力保障をすることを重視し、選択科目を増やすよりも少人数展開を実施するという方向性を出しました。

学校設定科目としては、実力国語（国語）、応用数学、数学演習（数学）、教養科学（理科）、ライフスポーツ（保体）、英語読解演習（英語）、生活文化（家庭）、ホームページデザイン演習、表計算演習（情報）という科目が設定されましたが、学校設定教科としては「地域活動」という教科を設定し「ボランティア」という科目を設定しました。この「ボランティア」という科目については、改めて特集します。

1年の数学と英語の授業は少人数展開を実施し、基礎学力を高めていく方向でカリキュラムが設定されています。

そして、大きな変更は、原級留置となる進級規定が改定され、年度末の追認が導入され、原級留置（留年）する生徒が激減しました。

このカリキュラムがスタートする年には、学年職員室を作り、一人一人の生徒に教職員が寄り添う流れで学校改革が進んだのです。

一方、2002(平成14)年、府立貝塚高等学校が

総合学科に単独改編され、膨大な選択科目を有する学校が泉南地区に登場しました。また、2009(平成21)年には、府立砂川高校と府立泉南高校が統合され、普通科総合選択制のりんくう翔南高校が誕生しました。多様化の流れが大阪府内に流れる中、泉鳥取高校は「生徒への寄り添い」と「地域への寄り添い」をキーワードに、教育が進んでいくこととなります。

#### 教育課程

教育課程表(平成17年度入学生)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1年	国語総合 4	地理A 2	日本史B 2	数学I 4	理科総合A 2	理科総合B 2	英語I 4	体育 3	保健 1	芸術I 2	生活技術 2	総合学習 1	L	H	R																
2年	国語総合 2	現代文 2	世界史B 2	日本史B 2	数学II 3	生物I 2	物理I 2	英語II 3	体育 3	保健 1	芸術II 2	情報A 2	生活技術 2	総合学習 1	L	H	R														
3年	国語総合 2	現代文 2	世界史B 2	現代社会 3	数学A 3	理科選択 3	英語II 2	オIラルI 2	体育 3	選択I 3	選択II 2	総合学習 1	L	H	R																

\*理科選択は(物理I・化学I・生物I・地学I)からの教科内選択

#### 選択科目

3単位(連続2時間含む)

教科	科目
数学	数学III 音楽III
芸術	美術III 書道III
体育	ライフスポーツ
家庭	生活文化
情報	ホームページデザイン
学校設定	(ボランティア)

2単位(連続しない)

教科	科目
国語	実力国語
社会	選択地理
数学	受験数学 数学演習
理科	教養科学
英語	英語読解演習
芸術	音楽表現 美術表現 書道表現
情報	表計算演習

2004(平成16)年度の学校紹介パンフレット。2003年度に改定された教育課程が掲載されています。 ⇒